

2019年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名: 初期環境調査
 調査媒体: 水質(ng/L)
 地方公共団体: 北海道
 調査地点: 石狩川伊納大橋(旭川市)

調査対象物質	測定値	報告時 検出下限値	検出下限値
[1] アジスロマイシン	nd	1.5	1.7
[2-1] メチル=(E)-2-[2-[6-(2-シアノフェノキシ)ピリミジン-4-イルオキシ]フェニル]-3-メトキシアクリラート (別名:(E)-アゾキシストロピン)	※0.61	0.55	1.1
[2-2] メチル=(Z)-2-[2-[6-(2-シアノフェノキシ)ピリミジン-4-イルオキシ]フェニル]-3-メトキシアクリラート (別名:(Z)-アゾキシストロピン)	nd	0.32	0.39
[4] アモキシシリン	---	---	0.013
[7] 3-[[[(ジメチルアミノ)カルボニル]オキシ]-1-メチルピリジニウム (別名:ピリドスチグミン)	nd	0.043	0.043
[9] N,N-ジメチルピグアニド塩酸塩 (N,N-ジメチルピグアニドとして) (別名:塩酸メトホルミン (メトホルミンとして))	35	0.17	0.17
[10] セリウム及びその化合物 (セリウムとして)	240	0.72	0.15
[11] タリウム及びその化合物 (タリウムとして)	12	0.36	0.14
[14] N-ニトロソジエチルアミン	0.1	0.026	0.026
[15] N-ニトロソジメチルアミン	0.16	0.024	0.024
[16] パルプロ酸	nd	1.7	3.1
[18] ピリメタニル	---	---	2.1
[20] ベンジル-p-ヒドロキシベンゾエート (別名:ベンジルパラベン)	nd	0.29	0.29

(注1)「nd」は不検出を意味する。

(注2) ※:参考値(調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない。)

(注3) ---:欠測等(測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりこでの集計の対象から除外された検体を示す)